

復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！

【第3回】第三次救急医療機関へのアクセス向上

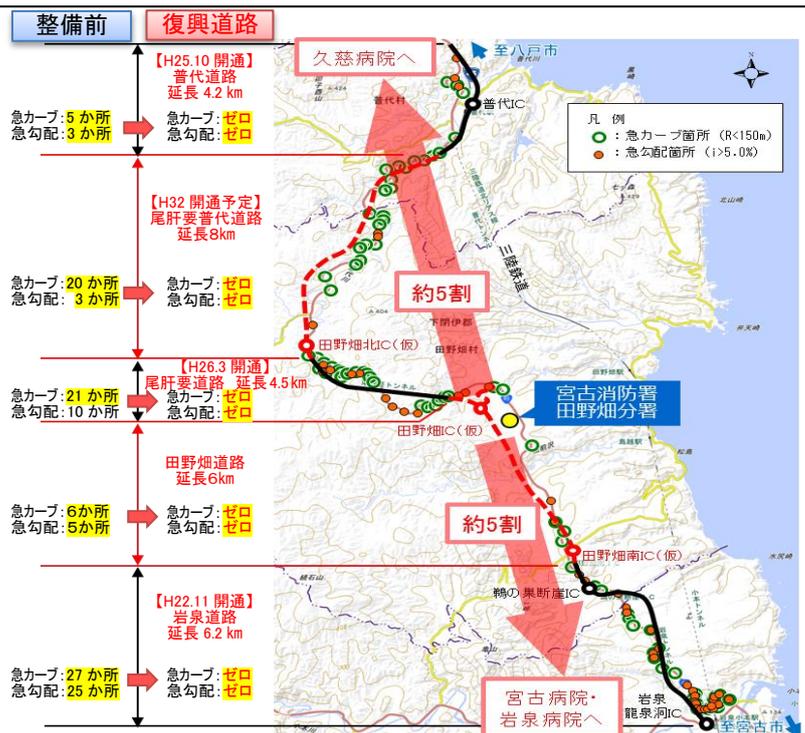
岩手県の第三次救急医療機関

- 県内で、救急医療体制の整っている**第三次救急医療機関**は**岩手医科大学附属病院、県立大船渡病院、県立久慈病院**の3箇所。
- 三陸沿岸地域等の**復興道路の整備**により、時間短縮など**各救急医療機関へのアクセス向上**が見込まれます。

(例えば・・・)

田野畑村では、近隣の久慈病院、宮古病院へのアクセス路に急カーブ・急勾配が多数存在し、患者に大きな負担が生じ、また、搬送中の応急処置にも支障がありました。

復興道路の整備により、**時間短縮、あい路区間の解消**が図られ「**命の道**」として機能します。



※救急搬送先病院の割合は宮古消防署田野畑分署の H27 年実績

復興道路等の整備によるストック効果(救急医療機関へのアクセス向上)

第三次救急医療機関へ  
**60分以内で行ける人口**  
が約**17万人**増加

第三次救急医療機関へ60分で行ける人口



現況 (H26年4月時点)

将来(復興道路完成時)

